



CRÉDIT AGRICOLE S.A.

本書は、英語による Crédit Agricole SA 2016 年度第 3 四半期報告書の抄訳であり、英語による原文がすべての点においてこの日本語の抄訳に優先します。疑義がある場合には英語の原文に従い解釈をお願いいたします。

2016 年 11 月 8 日 モンローージュ

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の業績結果 純利益の力強い伸びと強化された財務の健全性 全ての事業部門が成長に寄与

クレディ・アグリコル・グループ*	
業績及び財務面の堅牢性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当グループ全体で好調な事業の伸び: 支店ネットワーク、事業部門、大口顧客部門 ■ 当四半期の表示純利益グループ帰属分: 14 億ユーロ; 基礎純利益グループ帰属分¹: 18 億ユーロ(前年同期比+4%); 9 ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分¹: 47 億ユーロ ■ 地域銀行: 当四半期の高水準の純利益グループ帰属分: 7 億 8,000 万ユーロ; 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分: 24 億ユーロ ■ 記録の水準へと更に強化された財務面の堅牢性: 完全適用後 CET1 レシオ²: 14.4%

* クレディ・アグリコル S.A.と地域銀行の 100%。

クレディ・アグリコル S.A.	
事業活動と収益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての事業部門で好調な事業の伸び ■ 基礎収益¹: 前年同期比+12% ■ 大口顧客部門での力強い成長(収益は前年同期比+38%)とユーレカの最初の経常利益
業績	<ul style="list-style-type: none"> ■ グループ簡素化(ユーレカ)の完了: 純利益グループ帰属分に対して 12 億 5,000 万ユーロのプラス影響 ■ 当四半期の表示純利益グループ帰属分: 18 億 6,000 万ユーロ; 基礎純利益グループ帰属分¹: 10 億 2,000 万ユーロ(前年同期比+27%) ■ 厳格な費用管理: 前年同期比-2% ■ 全ての事業部門での十分なリスク掌握: 信用リスク関連費用は 41bp
財務面の堅牢性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務面の堅牢性の確認と一層の強化: 完全適用後 CET1 レシオ²は 12.0% ■ 2017 年 1 月 1 日³現在で適用可能になる分配制限トリガーを 475bp 上回るバッファ
配当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 強力な資本基盤と将来の収益獲得能力の見通しが明るいことを根拠とする魅力的な配当方針 ■ 2016 年度の純利益をベースに 1 株当たり 0.60 ユーロ⁴の配当を勧告する意向。2017 年度以降は、50%の配当性向と 2016 年度比で配当を引き下げない意向

¹ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)を参照。

² 2016 年度第 3 四半期の未監査純利益を含む。

³ 2017 年の SREP 要件の事前通知に関する ECB の確認を条件に、段階適用 CET1 レシオを用いる 465bp。

⁴ 2016 年 9 月 30 日現在の CET1 資本から全額控除された 1 株当たり 0.60 ユーロの配当。

クレディ・アグリコル・グループ

クレディ・アグリコル・グループの 2016 年度第 3 四半期の業績は、リテール・バンキング部門の支店ネットワーク、専門金融子会社、及び大口顧客部門の力強い伸びを反映しています。厳格な費用管理と低く抑えられた信用リスク関連費用の十分な掌握が寄与して、高い収益性を維持しました。2016 年度 9 ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分¹は 47 億ユーロでした。当グループは、2016 年 9 月 30 日までの 12 ヶ月間に 60 億ユーロを超える純利益を生み出し、完全適用後 CET1 レシオは、規制要件を大幅に上回り、業界最高水準となる 14.4%となりました。

2015 年度決算を発表した 2016 年 2 月 17 日に、当グループは構造簡素化計画を発表しました。ユーレカと称するこの計画で、クレディ・アグリコル S.A.は、CCI/CCA の形態での 2001 年の新規株式公開以降保有していた各地域銀行の 25%の無議決権持分を、地域銀行の完全所有会社である SACAM ミューチュアリゼーションに売却しました。

この取引は当四半期に完了し、2016 年 8 月 3 日に支払いと引渡しが行われました。2015 年 12 月 31 日時点でのクレディ・アグリコル地域銀行のバランスシートに基づいて最初に設定された価格は、2015 年 12 月 31 日から 2016 年 6 月 30 日までの間に IFRS により修正再表示された連結対象持分の変動分を考慮して調整されました。これにより、クレディ・アグリコル S.A.が SACAM ミューチュアリゼーションに譲渡した CCI と CCA の最終売却価格は 185 億 4,200 万ユーロとなりました。

SACAM ミューチュアリゼーションは、地域銀行が引き受けた増資(これはその後、クレディ・アグリコル S.A.からの 110 億ユーロの貸付によって資金が手当された)によってこの取引の資金を調達しました。地域銀行がクレディ・アグリコル S.A.に対して行った Switch 1 保証は解除され、50 億ユーロの保証金を返済することとなりました。この金額の残額は自己資金で賄われました。

この取引の会計上の影響は、クレディ・アグリコル・グループのレベルで解消されましたが、クレディ・アグリコル S.A.と地域銀行の双方の財務諸表上では重大なものでした。

クレディ・アグリコル・グループの 2016 年度第 3 四半期の純利益グループ帰属分は、前年同期の 17 億 5,100 万ユーロに対して 13 億 9,400 万ユーロでした。当四半期の-4 億 4,700 万ユーロの特殊要因¹(前年同期は-1,700 万ユーロ)を除くと、**基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 4.1%増の 18 億 4,100 万ユーロ**となりました。

ユーロ圏の金利は、当四半期も引き続き下落したことで、特にフランスとイタリアにおけるリテール・バンキングの仲介活動の金利マージンに更に圧力が加わり、フランスの LCL で新たなローン条件再交渉が発生しました。しかしながら、全ての事業部門での好調な事業活動がグループ・レベルで収益に対するこうした圧力の解消に寄与し、当四半期の基礎¹収益は、最終的には前年同期比 3.2%増を記録しました。

この好業績は諸費用に関する厳格な管理に支えられています。すなわち、その水準は 2015 年度第 3 四半期とほぼ変化なく(基礎的ベースでは 0.4%減)、リスク関連費用も地域銀行において緩やかな

¹ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)を参照。

増加があったものの(+10.1%)、ローン残高に対するリスク関連費用¹は 31 ベーシス・ポイントと低い水準に留まりました。更に、当グループは、当四半期に法務リスク引当金を 5,000 万ユーロ積み増しました。

地域銀行は、貸付と預金のバランスのとれた成長(2016 年 9 月末現在、前年同期比でそれぞれ 3.7%増と 3.6%増)により、引き続き好調を維持しました。貸付をけん引したのは住宅ローン(+5.7%)と消費者金融(+8.4%)で、預金をけん引したのは要求払預金(+11.7%)と住宅購入貯蓄プラン(+7.3%)でした。地域銀行は、個人傷害保険と損害保険でも力強い伸びを実現しました。地域銀行のこうした業績の伸びは、クレディ・アグリコル S.A.の事業部門(その商品の多くを地域銀行が販売)の成長に大きく寄与しています。

地域銀行の当四半期の収益は、当グループの構造簡素化作業の影響を受けました。この影響と住宅購入貯蓄引当金を除いた収益は、金利マージンに対する低金利の影響により 2.9%減少しました。営業費用は 1.0%増に抑制されると共に、残高に対するリスク関連費用¹は、19 ベーシス・ポイントと低水準を維持しました。全体では、2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分に対する地域銀行の寄与分は、それぞれ 7 億 7,700 万ユーロ、23 億 8,300 万ユーロでした。

クレディ・アグリコル・グループは、当四半期に財務面の堅牢性を更に強化し、完全適用後 CET1 レシオ²が 2016 年 9 月末現在で前年同期比 100 ベーシス・ポイント増、2016 年 6 月末比では 20 ベーシス・ポイント増の 14.4%となりました。このレシオには、2017 年 1 月 1 日²現在で適用可能になる分配制限トリガーを上回る 665 ベーシス・ポイント(およそ 350 億ユーロに相当)のバッファが含まれます。

TLAC レシオの推定値は、適格シニア債を除いて 2016 年 9 月 30 日現在で 19.7%でした。したがって、当グループは、この要件に適格シニア債が含まれるとしても、2019 年に関しては 19.5%に設定された最低要件を既に満たしています。

段階適用レバレッジ・レシオは 5.5%でした³。

当グループの流動性ポジションは堅固です。2016 年 9 月 30 日現在の当グループのバランスシート上の現金は 1 兆 720 億ユーロで、長期資産に対する長期の資金調達源の超過額は、2016 年 6 月末現在と比べると安定し、当グループの目標に合致する 1,040 億ユーロでした。流動性準備金(証券ポートフォリオに関連する評価益とヘアーカットを含む)は、2016 年 9 月 30 日現在で 2,460 億ユーロに達しました。これは、総短期債券を 3 倍以上カバーする数字です。

2016 年度 9 ヶ月累計期間に、クレディ・アグリコル・グループの主な発行体は、市場及び支店ネットワークにおいてシニア債と劣後債によって 286 億ユーロ相当額を調達しました。

¹ ローリング 4 四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

² 2017 年の SREP 要件の事前通知に関する ECB の確認を条件に、段階適用 CET1 レシオを用いる 645 ベーシス・ポイント、9 月末現在で 19.2%のグローバル段階適用レシオを用いる、2017 年 1 月 1 日現在で適用可能になる分配制限トリガーに基づく 795 ベーシス・ポイントのバッファ。

³ 委任法令の定めによる。ECB から入手した情報に対する当方の理解に従って、CDC への預金管理の一元化に関連するエクスポージャーの非適用免除を想定。

クレディ・アグリコル S.A.

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の財務諸表を検討するため、ドミニク・ルフェーブルを議長とするクレディ・アグリコル S.A.の取締役会が 2016 年 11 月 7 日に開かれました。

2016 年度第 3 四半期の純利益グループ帰属分は、当グループの構造簡素化作業によって発生した 12 億 5,400 万ユーロ(税金と作業費用の控除後)の利益を含めて 18 億 6,400 万ユーロでした。この数字には、LCL の資金調達コストの調整に関連する税金の控除後の 1 億 8,700 万ユーロの費用と共に、他の軽微な特殊要因も含まれています。全体では、特殊要因¹により、当四半期の純利益グループ帰属分に 8 億 4,500 万ユーロが追加されました。特殊要因を除いた当四半期の基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 26.9%増の 10 億 1,900 万ユーロ**でした。**

この素晴らしい業績は、クレディ・アグリコル S.A.の全ての事業部門と販売網、更にはその商品を販売する地域銀行の力強い事業展開によるものでした。この伸びは、前年同期比で減少した費用の厳格な管理と、低い水準で推移したリスク関連費用によって支えられました。

事業のデジタル化投資が認められて、クレディ・アグリコル・グループは今年、デジタル開発とデジタル・サービスの分野でフランスの最先端企業のトップ 3 に返り咲きました(出典: La Factory)。

全ての事業部門で活発に事業が展開されました。

- 特にフランスとイタリアのリテール・バンキング・ネットワークは、貸付と預金で力強い成長を達成しました。LCL では、住宅ローンが 1 年間で 3.2%増、個人事業主及び企業向け貸付が 7.4%増、要求払預金が 13.1%増をそれぞれ記録しました。イタリアのリテール・バンキングも同じく好業績を達成し、住宅ローンが 4.7%増、大手企業向け貸付が 20.4%増、オフ・バランスシート顧客預かり資産が 9.8%増となりました。
- 専門金融サービス部門は成長を維持し、当四半期の新規消費者貸付は前年同期比 15.3%増を記録しました。
- 資産運用部門では、2016 年度第 3 四半期における 223 億ユーロの大量の資金流入が主に寄与して、運用資産額が 1 年間で 10.8%増の 1 兆 540 億ユーロに拡大しました。
- 保険事業は、当四半期に新たに 17 万 5,000 件の損害保険を獲得し、また、保有生命保険は、2016 年 9 月末現在で前年同期比 4.2%増の 2,670 億ユーロとなりました。
- 最後に、大口顧客部門は、英国の EU 離脱決定後の好ましい市場環境の中で、債券、外国為替、与信活動に加えてストラクチャード・ファイナンスの分野で力強い伸びを達成しました。CACIB は、9 月末現在で 6.2%(2015 年 9 月末から 0.8 ポイント増)の市場シェアを獲得することで、ユーロ建て債券発行¹の主幹事として世界第 4 位にランクされています。

こうした力強い事業展開を反映して、特殊要因¹を除いた当四半期の収益は、大口顧客部門の急成長(+23.6%、+4 億 600 万ユーロ)とコーポレート・センターに関する当グループの構造簡素化作業に

¹ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)を参照。

伴う最初の経常収益(当四半期は+2 億 1,100 万ユーロ)を主な要因として、**前年同期比 11.9%(4 億 6,700 万ユーロ)増の 44 億 1,100 万ユーロ**となりました。他の部門は、横ばいとなるか、又は微減となりました。保険収益が低水準のキャピタル・ゲイン(-4.2%、-2,300 万ユーロ)の影響を受ける一方で、低金利は、LCL の金利マージン(-2.0%、-1,700 万ユーロとなった資金調達コストの調整費用及び住宅購入貯蓄を除いた収益)とイタリアのリテール・バンキング(-0.2%)への圧力となりました。2016 年度第 2 四半期と比べた基礎収益は、アセット・ギャザリング部門(-5.0%、-5,800 万ユーロ)の季節的影響にもかかわらず、大口顧客部門(+10.2%、+1 億 3,600 万ユーロ)と LCL(+2.5%、+2,100 万ユーロ(基礎的))がけん引して 1.7%(7,400 万ユーロ)増を記録しました。

特殊金融サービス部門への投資(+3.7%、+1,200 万ユーロ)と大口顧客部門の事業所移転費用(およそ-2,000 万ユーロ)にもかかわらず、**営業費用は、当四半期に前年同期比 1.8%(5,000 万ユーロ)減**となりました。これらの費用は、LCL とコーポレート・センターの費用減少(それぞれ-2,900 万ユーロ、-3,600 万ユーロ)及びウェルス・マネジメント部門の引当金戻入れ(-2,500 万ユーロ)によって十分に補われました。

リスク関連費用は、Switch 2 保証発動の消去¹の調整後では**前年同期比 4.0%増の 4 億 4,400 万ユーロ**と低い水準に留まりました。残高に対しては、前年同期比 2 ベーシス・ポイント減の 41 ベーシス・ポイント²となり、前四半期比では安定しました。リスク関連費用は、イタリアのリテール・バンキング部門では 7 四半期連続で減少し(101 ベーシス・ポイント)、消費者金融部門では安定的でした(134 ベーシス・ポイント)。低い水準にあるものの、LCL(18 ベーシス・ポイント)と大口顧客部門のファイナンス事業(32 ベーシス・ポイント)の双方で 2015 年度第 3 四半期の非常に低い基準からは増加となりました。

当四半期には、前四半期に計上された引当金と同額の 5,000 万ユーロの追加法務リスク引当金が計上されました。前四半期の引当金と同様に、これは、具体的な特定の訴訟に対して割り当てられたものではありません。

2016 年 9 月末現在、クレディ・アグリコル S.A.の自己資本比率は更に上昇しました。完全適用後 CET1 レシオは、2015 年 9 月末現在と比べて 170 ベーシス・ポイント増、2016 年 6 月末現在と比べた場合は 80 ベーシス・ポイント増となる 12.0%でした。この改善は主に、当四半期の配当可能純利益と共に当グループの構造簡素化作業(+72 ベーシス・ポイント)の影響によるものでした。9 月末現在の自己資本比率は、1 株当たり 0.60 ユーロ(7 ベーシス・ポイントのマイナス影響)の配当を 2017 年 5 月に AGM に対して勧告する意向であるため、この配当支払いに対する控えめな控除の 1 四半期での調整を考慮しています。当グループの構造簡素化作業を除くと、リスク・ウェイト資産は当四半期を通じて引き続き安定しました。

この水準の CET1 レシオにより、2017 年 1 月 1 日現在で適用可能になる分配制限トリガーを上回る 475 ベーシス・ポイント(140 億ユーロ相当)³のバッファが可能になります。

クレディ・アグリコル S.A.の段階適用レバレッジ・レシオは、欧州委員会が採択した委任法令に定める

¹ 2015 年度第 3 四半期の 1 億 7,300 万ユーロの費用に相当し、同年度第 2 四半期に引当金として計上された同額の収益を消去。

² ローリング 4 四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

³ 2017 年の SREP 要件の事前通知に関する ECB の確認を条件に、段階適用 CET1 レシオを用いる 475 ベーシス・ポイント、9 月末現在で 19.2%のグローバル段階適用レシオを用いる、2017 年 1 月 1 日現在で適用可能になる分配制限トリガーに基づく 925 ベーシス・ポイントのバッファ。

ように 2016 年 9 月末現在では 4.7%¹で、これは 2016 年 6 月末時点と比べて 0.1 ポイントの改善となりました。

クレディ・アグリコル S.A.と当グループは、双方とも 2016 年 9 月末現在で LCR レシオが 110%を超えました。

クレディ・アグリコル S.A.は 2016 年 9 月 30 日現在、2016 年の総額 140 億ユーロの中・長期債市場発行プログラム(シニア債と劣後債)の 79%を完了し、シニア債によって 96 億ユーロ相当額、劣後債によって 15 億ユーロ相当額をそれぞれ調達しました。クレディ・アグリコル S.A.は現在、バランスシートの構造費用を最適化するための非優先シニア債に関して間近に迫るフランス法の採択を待っているところです。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は 32 億 4,900 万ユーロでした。上記の当四半期の特異要因を除くと、この数字には、2016 年度第 2 四半期に計上されたビザの株式売却益である 3 億 2,700 万ユーロと、2016 年度上半期の他の軽微な特異要因も含まれています。全ての特異要因を除くと、2016 年度 9 ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 13.8%増の 22 億 3,300 万ユーロ**となりました。**

¹ 委任法令の定めによる。ECB から入手した情報に対するクレディ・アグリコル S.A.の理解に従って、クレディ・アグリコル S.A.のグループ内取引の適用免除(110bp の影響)と CDC への預金管理の一元化に関連するエクスポージャーの非適用免除を想定。

社会的・環境的責任

COP22 の気候に関する協議の際に、クレディ・アグリコル・グループは、グリーンファイナンス分野での主導的役割に対する自らの公約を改めて主張しました。具体的な達成事項は、低炭素経済に向けたエネルギー転換を支持する旨を COP21 会議で正式に発表して以来、当グループが成し遂げた進展を表しています。当グループは 2016 年度 9 ヶ月間のうちに、公表した目標を若干上回りました。

- － エネルギー転換を支援する 225 億ユーロの金融取り決め ― 3 年間で目標とする 600 億ユーロの約 38%
- － クレディ・アグリコル S.A.とクレディ・アグリコル CIB が計画する 20 億ユーロのうち、8 億 5,800 万ユーロの現金をグリーンボンドに投資
- － 過去 1 年間で再生可能エネルギー向け融資が 12%増(2015 年の 3 億 5,900 万ユーロに対して 4 億 300 万ユーロ)
- － 2020 年までに計画された 50 億ユーロのうち、EDF 及び中国農業銀行との資産運用ジョイントベンチャーを通じてアムンディが 1 億 5,000 万ユーロを調達

採炭事業には融資を行わないという 2015 年 5 月に行った公約に従って、クレディ・アグリコルは、2016 年 10 月下旬に自らの方針を拡大し、その所在国にかかわらず石炭火力発電所の新設又は拡張に対して融資を実行しないことを決定しました。この決定は、主要事業活動がそうしたプロジェクトである企業にも適用されます。

自らの事業の他の側面では、当グループはこのほど、3,200 人の国内外の回答者(一般大衆、顧客、従業員、オピニオンリーダー)を対象に 2 回目の CSR 調査を行いました。この結果は、顧客の個人データを保護し、当グループの中で高い倫理基準の文化を促進し、顧客にとっての存在感を高めるために当グループが既に講じている措置に合致するものでした。これらは、当グループの行動が必要であるとステークホルダーが示唆する 3 つの主要分野です。これらのテーマは、当グループの「Strategic Ambition 2020」中期計画に行動分野として記されています。

決算スケジュール

2017年2月15日	2016年度第4四半期及び通年の決算発表
2017年5月11日	2017年度第1四半期の決算発表
2017年5月24日	年次株主総会(トゥール)
2017年8月3日	2017年度第2四半期及び上半期の決算発表
2017年11月8日	2017年度第3四半期の決算発表

Disclaimer

This presentation may include prospective information on the Group, supplied as information on trends. This data does not represent forecasts within the meaning of European Regulation 809/2004 of 29 April 2004 (chapter 1, article 2, §10). This information was compiled from scenarios based on a number of economic assumptions for a given competitive and regulatory environment. Therefore, these assumptions are by nature subject to random factors that could cause actual results to differ from projections. Likewise, the financial statements are based on estimates, particularly for the calculation of market values and asset impairments. Readers must take all of these risk factors and uncertainties into consideration before making their own judgement.

Applicable standards and comparability

The figures presented for the six-month period ended 30 June 2016 have been prepared in accordance with IFRS as adopted in the European Union and applicable at that date, and with prudential regulations currently in force. This financial information does not constitute a set of financial statements for an interim period as defined by IAS 34 "Interim Financial Reporting" and has not been audited.

Throughout the document, data on 2015 results is presented pro forma: transfer of CACEIS from Asset Gathering to Large Customers, transfer of Insurance Switch from the Corporate centre to Insurance and reclassification of the contribution of the Regional Banks under IFRS5. Within Crédit Agricole S.A., "Retail banking" now covers only LCL and International retail banking.

クレディ・アグリコル S.A.連結決算

<i>(in millions of euros)</i>	Q3-16	Q3-16 underlying	Change Q3/Q3 underlying	9M-16	9M-16 underlying	Change 9M/9M underlying
Revenues	3,738	4,411	+11.9%	12,275	12,944	+2.4%
Operating expenses	(2,688)	(2,688)	(1.8%)	(8,713)	(8,672)	(0.1%)
Gross operating income	1,050	1,723	+42.9%	3,562	4,272	+7.7%
Cost of credit risk	(444)	(444)	+4%	(1,293)	(1,293)	(2.6%)
Cost of legal risk	(50)	(50)	nm	(100)	(100)	nm
Operating income	556	1,229	+57.7%	2,169	2,879	+9.1%
Share of net income of equity-accounted entities	149	149	(50.3%)	393	393	(6%)
Net income on other assets	(49)	(49)	nm	(46)	(46)	nm
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-
Income before tax	656	1,329	+23.1%	2,516	3,226	+5.5%
Tax	33	(196)	+16.1%	(234)	(678)	(6%)
Net income from discontinued or held for sale operations	1,272	0	nm	1,283	11	nm
Net income	1,961	1,133	+25.1%	3,565	2,559	+10.5%
Non-controlling interests	97	114	+10.8%	316	326	(7.9%)
Net income Group share	1,864	1,019	+26.9%	3,249	2,233	+13.8%

2016 年度第 3 四半期の収益は、フランスのリテール・バンキング部門(LCL)の資金調達コスト調整に関連する 3 億ユーロの費用とユーレカ計画に関連する多様な費用(総額 2,300 万ユーロ)を含めて、総額で 37 億 3,800 万ユーロとなりました。総額で 3 億 5,000 万ユーロ減となるこれらの特殊要因¹と通常の会計上の修正再表示(債務の再評価、DVA running、及びローン・ヘッジ)を除くと、基礎収益は、前年同期比 11.9%(4 億 6,700 万ユーロ)増の 44 億 1,100 万ユーロでした。

この伸びは、大口顧客部門の好業績(収益は 36%(4 億 600 万ユーロ)増)と当グループの構造簡素化作業の最初の経常的影響を主な要因としています。これらは、当四半期にコーポレート・センターの収益を 2 億 1,100 万ユーロ押し上げました。他の部門の収益は概ね安定を維持し、好調な事業推移により、低金利を原因とする仲介事業マージンへの圧力と低い水準に留まった保険事業のキャピタル・ゲインを補いました。

営業費用は 1.8%減の 26 億 8,800 万ユーロでした。これには、当四半期又は 2015 年度第 3 四半期の特殊要因¹が含まれていないため、基礎的ベースでの変動は同程度であり、厳格な費用規律を反映しています。

リスク関連費用には、2016 年度第 2 四半期と同様に 5,000 万ユーロの法務引当金が含まれていま

¹ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)を参照。

す。この引当金を除くと、信用リスク関連費用は 4 億 4,400 万ユーロでした。2015 年度第 3 四半期のリスク関連費用には、同年度第 2 四半期に発動された Switch 保険保証の消去に対応する 1 億 7,300 万ユーロの費用が含まれていました。2016 年度第 3 四半期の信用リスク関連費用は、この費用の修正再表示が行われた前年同期と比べて 4.0%増でした。残高に対するリスク関連費用¹は、前年の 43 ベーシス・ポイントに対して 41 ベーシス・ポイントと、全ての事業部門で低い水準に留まりました。

不良債権²は、顧客及び銀行間の総ローン残高の 3.6%(2015 年 9 月末現在と比べて 0.1 ポイント減)に相当する 159 億ユーロでした。個別引当金によってカバーされた不良債権引当率は 51.9%で、一般引当金を含めた不良債権引当率は 67.7%でした。

当四半期の持分法適用会社の純利益帰属分は、大口顧客部門と特にバンク・サウジ・フランジ(寄与分はほぼ横ばい)の 5,900 万ユーロ、専門金融サービス部門と特に自動車ローン提携事業の 5,500 万ユーロ(寄与分は 29%増)、及びコーポレート・センターと主にユーラゼオ社の 2,700 万ユーロ(この寄与分は、2015 年度第 3 四半期に非常に大きな利益を上げたことで押し上げられた)を含めて、1 億 4,900 万ユーロに達しました。2015 年度第 3 四半期と比べて持分法適用会社の寄与分が減少したのは、2015 年にユーラゼオ社が達成した大きな利益が主な原因でした。

当グループの構造簡素化作業の一環としての IFRS 第 5 号に基づく再分類を理由に、地域銀行の寄与分が一切計上されていない点にご注意ください。2015 年度第 3 四半期の財務諸表は、この再分類を考慮するために修正再表示されました。

全体では、2016 年度第 3 四半期のクレディ・アグリコル S.A.の純利益グループ帰属分は、18 億 6,400 万ユーロでした。上記の特殊要因³を除くと、**基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 26.9%増の 10 億 1,900 万ユーロ**となりました。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は 32 億 4,900 万ユーロでした。この中には、第 2 四半期のビザ・ヨーロッパの株式売却益(+3 億 2,700 万ユーロ)、当グループの構造簡素化作業の非経常的影響(+12 億 5,400 万ユーロ)、及び LCL の資金調達コスト調整(-1 億 8,700 万ユーロ)が含まれています。付属資料に記される全ての特殊要因の調整後では、**基礎純利益グループ帰属分は 13.8%増の 22 億 3,300 万ユーロ**でした。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額とを調整するために考慮された**個別損益項目**については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)に詳述されています。

¹ ローリング 4 四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

² クレディ・アグリコルの内部取引、未收利息、ファイナンス・リースを除く。

³ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30 ページ)を参照。

ソルベンシー

2016年9月末現在、クレディ・アグリコル S.A.のソルベンシーは更に強化されています。**完全適用後 CET1 レシオ**は、2015年9月末時点と比べて170 ベーシス・ポイント増、2016年6月末時点と比べて80 ベーシス・ポイント増となる**12.0%**でした。当四半期のこうした改善は主に、当四半期の配当可能純利益(+21 ベーシス・ポイント)と包括的利益準備金の変動(+12 ベーシス・ポイント)と共に当グループの構造簡素化作業の影響(+72 ベーシス・ポイント)によるものであり、1株当たり0.60ユーロの配当支払いを行う意向であるため、この配当支払いを考えると控えめな控除に対する1四半期での調整(-36 ベーシス・ポイント)によってある程度相殺されました。当グループの構造簡素化作業を除くと、リスク・ウェイト資産は当四半期を通じて安定しました。

2016年9月30日現在の段階適用レシオは、2016年6月末現在と比べて120 ベーシス・ポイント増の20.0%でした。

クレディ・アグリコル S.A.の段階適用レバレッジ・レシオ¹は、欧州委員会が採択した委任法令に定義されるように、2016年9月末現在で4.7%となりました。

流動性

クレディ・アグリコル・グループのバランスシート上の現金は、前四半期の1兆660億ユーロ、2015年9月末現在の1兆380億ユーロに対して、2016年9月末現在では総額1兆720億ユーロでした。

長期の利用可能資金に対する長期資金調達源の超過額は、2016年6月30日現在の1,040億ユーロ及び2015年9月30日現在の1,060億ユーロに対して、2016年9月30日現在では1,040億ユーロと横ばいでした。

証券ポートフォリオに関連する評価益及びヘアーカットを含む流動性準備金は、2016年9月30日現在で2,460億ユーロに達し、これは総短期債券の3倍に相当します(2016年6月30日現在では277%、2015年9月30日現在では225%)。当グループとクレディ・アグリコル S.A.のLCRレシオは、2016年9月末現在で引き続き110%を上回りました。

クレディ・アグリコル・グループの主な発行体は、2016年度9ヶ月累計期間に市場及び支店ネットワークにおいてシニア債と劣後債により286億ユーロを調達しました。クレディ・アグリコル S.A.自体は、シニア債によって96億ユーロ相当額、劣後債によって15億ユーロ相当額(このうち、11億5,000万ユーロ相当分は、2016年初頭に完了した米ドル建ての追加ティア1の発行)をそれぞれ調達しました。クレディ・アグリコル S.A.は、2016年9月30日現在で140億ユーロの中・長期市場資金調達プログラム(シニア債と劣後債)の79%を完了しました。クレディ・アグリコル S.A.は現在、バランスシートの構造費用を最適化するための非優先シニア債に関して間近に迫るフランス法の採択を待っているところです。

¹ 委任法令の定めによる。ECBから入手した情報に対するクレディ・アグリコル S.A.の理解に従って、クレディ・アグリコル S.A.のグループ内取引の適用免除(110bpの影響)とCDCへの預金管理の一元化に関連するエクスポージャーの非適用免除を想定。

部門別決算

1. フランス国内のリテール・バンキング(LCL)

(in millions of euros)	Q3-16 underlying ¹	Change Q3/Q3 underlying ¹	9M-16 underlying ¹	Change 9M/9M underlying ¹
Revenues	870	(2.4%)	2,554	(7.4%)
Network reorganisation cost	(600)	(5.4%)	(1,895)	(2.1%)
Gross operating income	270	+5.1%	659	(19.7%)
Cost of risk	(55)	x2.9	(130)	+56.6%
Income before tax	215	(9.7%)	529	(28.2%)
Tax	(50)	(38.7%)	(161)	(39.6%)
Net income	165	+5.6%	368	(21.8%)
Non-controlling interest	8	+9.1%	18	(23.3%)
Net income Group Share	157	+5.4%	350	(21.7%)

2016 年度第 3 四半期は、好調な事業拡大の持続と前年同期からの純利益の増加(貸付資金調達コストの調整に関連する費用を除く)により、これまでの四半期の傾向を踏襲しました。

消費者信用残高は、個人事業主と企業への貸付が 7.4%増と大幅な伸びを記録したことで、2015 年 9 月から 2016 年 9 月までで 4.2%増となりました。住宅ローンは、同じ期間に 3.2%増となりました。オン・バランスシート預金は、要求払預金の 13.1%増が寄与して前年比 8.6%増でした。

保険商品(特に損害保険(住宅、自動車、及び健康))は、2016 年度第 3 四半期に前年同期比で 14%増と好調を維持しました。

当四半期はまた、2015 年度第 2 四半期と第 3 四半期に達成した最高水準(それぞれ 47 億ユーロと 46 億ユーロ)を上回らなかったものの、住宅ローン条件再交渉が高い水準(44 億ユーロ)で推移しました。早期返済額も当四半期に増加して 14 億ユーロとなりました。

LCL は当四半期に、低金利が金利マージンに与える影響に対応するために、貸付資金調達コストの調整を行いました。2016 年度第 4 四半期の時点でプラス効果を生じるこの調整は、純利益グループ帰属分に 1 億 8,700 万ユーロのマイナス影響と、当四半期の収益に 3 億ユーロのマイナス影響を及ぼしました。

この要因を除くと、LCL の当四半期の収益は、前年同期比 2.4%減の 8 億 7,000 万ユーロとなります。2015 年度第 3 四半期に計上された住宅購入貯蓄プラン引当金の戻入れを除くと、前年同期比の減少幅は 2.0%に縮小しました。

¹ 2016 年度第 2 四半期のネットワーク再編引当金と当四半期の資金調達コスト調整について修正再表示。

収益は、2016 年度第 2 四半期と比べて 2.5%増加しました。この前四半期比での増加は、純金利マージンの改善によるものであり(2016 年度第 2 四半期と比べて 6.0%(2,800 万ユーロ)増)、これには早期返済手数料と住宅ローン条件再交渉の経常外利益が含まれます(それぞれ 1,200 万ユーロと 1,900 万ユーロ。2016 年度第 2 四半期では、それぞれ 700 万ユーロと 700 万ユーロ)。

営業費用の減少は、当四半期に更に加速し、2015 年度第 3 四半期比で 5.4%の大幅減となりました。変革計画に関連する費用を除くと、減少幅は 4.7%でした。

2016 年度第 3 四半期のリスク関連費用は 5,500 万ユーロで、前年同期に計上された訴訟からの回収の影響を修正再表示すると前年同期比で横ばいでした。

全体では、2016 年度第 3 四半期の LCL の基礎純利益グループ帰属分は、資金調達コストの調整を除くと前年同期比 5.4%増の総額 1 億 5,700 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分は、資金調達コストの調整とネットワーク最適化引当金を除くと 3 億 5,000 万ユーロでした。これは、2015 年の住宅ローン条件再交渉と早期返済の急増による純金利マージンへのマイナス影響を主な要因として 21.7%の減少となりました。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益調整については、付属資料に詳述されていません。

2. 国際リテール・バンキング

2016 年度第 3 四半期の当事業部門の純利益グループ帰属分は、前年同期比 14.2%増の 7,900 万ユーロでした。

<i>(in millions of euros)</i>	Q3-16	Change Q3/Q3	9M-16	Change 9M/9M
Revenues	631	(0.5%)	1,893	(4.0%)
Operating expenses	(361)	+1.8%	(1,105)	+0.2%
Gross operating income	270	(3.4%)	788	(9.4%)
Cost of risk	(108)	(25.5%)	(348)	(21.5%)
Net income on other assets	1	(72.0%)	1	(60.9%)
Income before tax	163	+18.6%	441	+2.9%
Tax	(52)	+30.5%	(143)	(0.2%)
Net income	111	+16.5%	298	+10.5%
Non-controlling interest	32	+22.3%	89	+7.6%
Net income Group Share	79	+14.2%	209	+11.8%

イタリアでは、クレディ・アグリコル S.A.が 10 月末に、同国での当グループの実績の認知度と統一性を高めるために 3 つのリテール・バンキング・ネットワーク(カリパルマ、フリウラドリア、カリスペツィア)の再ブランディングを発表しました。

イタリアの国際リテール・バンキング部門(IRB イタリア)は、当四半期に事業展開と業績の面で好調を維持しました。2016 年 9 月 30 日現在の顧客預かり資産は、2015 年 9 月 30 日現在と比べて 6.3%増の急成長を遂げて 992 億ユーロとなりました。オフ・バランスシートの顧客預かり資産の伸びは特に大きく、同期間に 9.8%増の 654 億ユーロとなりました¹。オン・バランスシート預金は 1 年を通じて安定し、2016 年 9 月 30 日現在で 338 億ユーロでした¹。2016 年 9 月 30 日現在のローン残高は、イタリア市場の 3.1%増に対して 1 年間で 4.7%増となった住宅ローンが引き続きけん引役となり、2.7%増の 347 億ユーロでした。2016 年度第 3 四半期の早期返済額は、前四半期に比べて減少しました。同時に、大手企業向けローンは前年同期比 20.4%増となる一方で、SME 向けローンは同じ期間に 0.9%減少しました。

2016 年度第 3 四半期の IRB イタリアの収益は、オフ・バランスシートの顧客預かり資産流入の回復に伴う手数料収入の 5%増が主に寄与して、4 億 600 万ユーロとなりました。純金利マージンは、引き続き低金利のマイナス影響を受けました。

当四半期の営業費用は抑制された水準に留まり、前年同期比でわずか 0.7%増の 2 億 3,200 万ユーロでした。IRB イタリアはこれにより、コスト比率を 57.1%と満足できる水準に維持することができました。

¹ 2016 年度第 3 四半期に金融顧客預金をオン・バランスシート預金から市場資金調達へと再分類したことに伴う試算値。

2016 年度第 3 四半期のリスク関連費用は、前年同期比でおよそ 26%減となる 7,100 万ユーロでした。これは、前年同期と比べて当四半期に新たな債務不履行が 29%減少したことで IRB イタリアのポートフォリオの質が改善したことによるものです。2016 年度第 3 四半期の総額 1 億 2,000 万ユーロの sofferenze ポートフォリオの売却後では、不良債権比率は 13.4%、不良債権引当率は一般引当金を含めて 45.6%でした。

したがって、2016 年度第 3 四半期の IRB イタリアの純利益グループ帰属分は、およそ 28%増の 4,800 万ユーロでした。クレディ・アグリコル S.A.のイタリアの事業部門全体の純利益グループ帰属分に対する寄与分は、当四半期が 1 億 2,500 万ユーロ、9 ヶ月累計期間では 3 億 6,200 万ユーロでした。

収益の 4.4%減と費用の 1.0%増という 2 つの影響を理由に、**9 ヶ月累計期間**の IRB イタリアの営業総利益は、前年同期比で約 11%減の 5 億 1,400 万ユーロでした。同じ期間のリスク関連費用は、前年同期比 18.7%減の 1 億 2,900 万ユーロとなり、純利益グループ帰属分の減少幅を 1.6%に抑えました。

当グループの他の海外子会社(他の IRB)も当四半期に順調に事業を拡大し、金融面の業績を維持しました。但しユーロ表示の場合、特に 2016 年 9 月 30 日までの当年度のエジプトとウクライナの通貨のそれぞれ 13%、17%の下落により、これらの業績は為替のマイナス影響を受けました。この為替効果を除いたオン・バランスシート預金は、ポーランド(8%増)、ウクライナ(41%増)、及びエジプト(10%増)での大幅な伸びが主な要因となって 2016 年 9 月末現在で 1 年間に 5.5%増の 115 億ユーロとなる一方で、モロッコは横ばいでした。再び為替効果を除くと、合計顧客預かり資産は、2016 年 9 月 30 日現在では 1 年間で 1.8%増の総額 127 億ユーロでした。

2016 年 9 月 30 日現在のローン残高は、為替効果を除くと前年同期比 3.3%増の 103 億ユーロでした。2016 年 9 月 30 日現在のローンに対する預金の超過額は 20 億ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期の収益は、前年同期比 1.0%減の 2 億 2,500 万ユーロでした。営業費用は、ポーランドでの銀行税引き上げと共にエジプトのインフレにより、3.9%増加しました。したがって、営業総利益は、前年同期比 6.8%減の 9,600 万ユーロでした。当四半期のリスク関連費用は、前年同期比 24.6%減の 3,700 万ユーロでした。

他の IRB の純利益グループ帰属分に対する寄与分は、前年同期比 1.9%減の 3,100 万ユーロとなりました。為替効果を除いた純利益グループ帰属分は、特に以下を理由として 8%増加しました。

- **エジプト**は、国内の取引高を抑制した米ドル不足にもかかわらず、国内通貨では純利益グループ帰属分の大幅増を記録しました。
- **ポーランド**は、貸付と預金の双方で順調に業績を拡大しましたが、控除対象外の銀行税の更なる引き上げで悪影響を受けました。
- **ウクライナ**は、為替効果を除くと、収益の大幅増とリスク関連費用の記録的改善により、収益率の維持と純利益グループ帰属分の急増を達成しました。
- **クレディ・デュ・モロッコ**の業績は、営業総利益の大幅増とリスク関連費用の低下によってけん引されました。

2016 年度 9 ヶ月累計期間における他の IRB の純利益グループ帰属分への寄与分は、厳格な費用抑制(前年同期比 1.0%減)と特にリスク関連費用の改善(前年同期比 27.0%減)の結果、前年同期比 43.1%増の 8,000 万ユーロと大幅増を達成しました。収益は、為替のマイナス影響を受けて前年同期比 3.3%減の 6 億 7,600 万ユーロとなりました。

3. 資産運用ビジネス

当事業部門には、資産運用、保険、及びウェルス・マネジメントが含まれます。

(in millions of euros)	Q3-16	Change Q3/Q3 underlying ¹	9M-16	Change 9M/9M underlying ¹
Revenues	1,107	(1.2%)	3,450	(0.5%)
Operating expenses	(477)	(4.5%)	(1,601)	(1.2%)
Gross operating income	630	+1.5%	1,849	+0.1%
Cost of risk	(2)	nm	(9)	nm
Operating income	628	+13.4%	1,839	+0.9%
Share of net income of equity-accounted entities	8	+35%	21	+12.4%
Net income on other assets	-	-	1	nm
Pre-tax income	636	+1.7%	1,862	(2.8%)
Tax	(149)	(34.8%)	(500)	(26.6%)
Net income	487	+22.6%	1,362	+10.2%
Non-controlling interests	40	+31.9%	121	+22.2%
Net income Group share	447	+21.9%	1,241	+9.1%

2016年9月30日現在の運用資産額は、2015年12月31日時点と比べて5.5%(770億ユーロ)増の1兆4,730億ユーロとなり、当年度上半期に既にみられた事業趨勢の持続が確認されました。資金流入額(純額)は、アムンディの390億ユーロ、生命保険の70億ユーロ、ウェルス・マネジメントの10億ユーロを含めて総額470億ユーロでした。この堅調な業績とは別に、当事業部門はまた、マーケットと為替のプラス影響として220億ユーロと連結対象範囲の効果として80億ユーロを計上しました。

2016年度9ヶ月累計期間の当事業部門の純利益グループ帰属分は、当四半期の4億4,700万ユーロを含めて前年同期比9.1%増(2015年度第2四半期のSwitch保証の発動と2015年度第3四半期のクローバックの影響を除く)となる12億4,100万ユーロでした。

資産運用部門では、アムンディ²の資産運用額が1兆540億ユーロとなりました(1年間で10.8%増、及び2015年12月31日時点と比べて7.0%増)。これは、大規模な資金流入、マーケットのプラス影響(2016年度9ヶ月累計期間で217億ユーロ)、及び連結対象範囲の変化(8月29日に成立したKBIグローバル・インベスターズの買収による86億ユーロの追加資産運用額)が寄与して達成されました。

2016年度9ヶ月累計期間の資金流入額(純額)は、顧客のリスク回避の動きが増加したにもかかわらず391億ユーロ増となりました。このうち、中長期資産³の258億ユーロは、このカテゴリーの全ての資産種別からのものです。機関投資家セグメントの寄与分は249億ユーロで、このうち、91億ユーロは

¹ 2015年度第2四半期のSwitch保証発動の影響の修正再表示後。

² アムンディは上場企業であり、10月28日に2016年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の詳細な決算を発表した。

³ 株式、債券、マルチ資産、仕組債、不動産、特殊資産等。

中長期資産でした。リテール・セグメントは、主にアジアのジョイントベンチャー(+126 億ユーロ)を通じて、+167 億ユーロの中長期資産のうち+142 億ユーロを集めました。フランスのネットワークからの資金流入額(純額)は、中長期資産で+6 億ユーロと微増でした。当四半期の資金流入額(純額)は総額で+223 億ユーロでした。中長期資産の資金流入額(純額)は、特にトレジャリー商品の資金流入額(純額)が+138 億ユーロと大きかったことが寄与して、高い水準を維持しました(+86 億ユーロ)。

2016 年度第 3 四半期のアムンディの 100%(少数株主持分を含む)での純利益グループ帰属分は、前年同期比 13.7%増の 1 億 3,400 万ユーロでした。株式市場の低迷とボラティリティの高い環境の中でのこうした優れた業績には、堅調な収益と厳格な費用抑制が寄与しました。純利益グループ帰属分は、クレディ・アグリコル S.A.の持分低下(2015 年度第 3 四半期の 78.6%から 2016 年度第 3 四半期には 74.2%)の影響により、2015 年度第 3 四半期の 9,300 万ユーロに対して 6.9%増の 9,900 万ユーロとなりました。収益は、信託報酬と成功報酬の回復により 5.1%増となる一方で、営業費用は前年同期比 3.0%増となりました。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は、前年同期の 3 億 400 万ユーロに対して 2 億 9,900 万ユーロでした。この減少の主な要因は、所有比率の低下でした(100%での純利益グループ帰属分は 5.1%増の 4 億 600 万ユーロ)。収益は 0.7%増加し、営業費用は 0.6%減少しました。したがって、コスト比率は、高水準の営業効率を反映して、2015 年度 9 ヶ月累計期間と比べると 0.7 ポイント改善して 53.1%となりました。

保険部門では、2016 年度第 3 四半期の保険料収入¹が 69 億ユーロとなりました。

貯蓄/退職保険部門は、季節的影響と低金利環境の影響を受けて業績が縮小しました。当四半期の保険料収入は、国際市場での好業績にもかかわらず、前年同期の 56 億ユーロに対して 3.3%減の 54 億ユーロでした。運用資産額は、2016 年 9 月末現在では 1 年間で 4.2%増の 2,669 億ユーロとなりました。ユーロ資金は 2,159 億ユーロとなる一方、ユニット・リンク型ファンドは 510 億ユーロ(全体の 19.1%)でした。但し、ユニット・リンク型ファンドの比率は、当四半期の流入額のうち 24.3%を占めました。

損害保険部門は、フランス国内で市場成長を上回る伸びを達成しました。農業・スモールビジネス部門は急成長を遂げました(2015 年度 9 ヶ月累計期間と比べて+19.9%)。2016 年 6 月には 1,200 万件的の保険契約目標に到達し、当四半期には、更に 17 万 5,000 件の新規保険契約が成立しました。2016 年度第 3 四半期の損害保険部門の保険料収入は、前年同期比 7.4%増の 7 億 1,100 万ユーロでした。コンバインドレシオ²はパシフィカに関してはわずかに低下して 96%でした。

死亡・高度障害保険/健康保険/債権者保険セグメントでは、2016 年度第 3 四半期の保険料収入が前年同期比 5.1%増の 7 億 9,200 万ユーロとなりました。

2016 年度第 3 四半期の保険部門の純利益グループ帰属分は、Switch 保証発動³の影響を除くと前

¹ 個人健康保険及び損害保険の《死亡・高度障害保険/健康保険/債権者保険》から《損害保険》への移転に伴う新規事業部門での IFRS に基づく保険料収入の内訳。

² (請求額+営業費用)/保険料収入。

³ Switch 保証の発動は、2015 年度第 2 四半期の保険事業部門のリスク関連費用(試算値)に 6,600 万ユーロのプラス影響をもたらした。

年同期比で 21.9%増となる 3 億 500 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は、Switch 保証発動¹の影響の修正再表示後では前年同期比 19.8%増の 8 億 6,500 万ユーロでした。

ウェルス・マネジメント部門は、困難な市況にもかかわらず当四半期に運用資産額を維持し、2016 年 9 月末現在の金額は、2015 年 9 月末と比べて 3.6%増の 1,521 億ユーロでした。2016 年度第 3 四半期の純利益グループ帰属分は、スイスの規則が義務付ける換算率の低下を受けて受取年金引当金の戻入れによって増加しました。これにより、金融市場の不透明な状況に直面した投資家の静観の構えと、自動的情報交換 (AEol) に関する協定の規則を順守する国での事業の重点見直しの初期的な影響が解消されました。この金額は、2015 年度第 3 四半期比で 77%増の 4,300 万ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

¹ Switch 保証の発動は、2015 年度第 2 四半期の保険事業部門のリスク関連費用(試算値)に 6,600 万ユーロのプラス影響をもたらした。

4. 専門金融サービス

専門金融サービス部門には、消費者信用(CA コンシューマー・ファイナンス-CACF)とリーシング&ファクタリング(CA リーシング&ファクタリング-CAL&F)が含まれます。

(in millions of euros)	Q3-16	Change Q3/Q3	9M-16	Change 9M/9M
Revenues	658	(0.6%)	1,964	(0.4%)
Operating expenses	(330)	+3.7%	(1,019)	+1.5%
Gross operating income	328	(4.5%)	945	(2.5%)
Cost of risk	(157)	+0.5%	(434)	(20.3%)
Income before tax	171	(8.8%)	511	+20.4%
Share of net income of equity-accounted entities	55	+23.7%	152	(15.0%)
Pre-tax income	0	nm	(2)	nm
Tax	226	(2.4%)	661	+18.8%
Net income from discontinued or held for sale operations	(48)	(19.9%)	(153)	+2.3%
Net income	178	+3.7%	508	+25.3%
Non-controlling interests	21	(26.9%)	68	(1.3%)
Net income Group share	157	+9.9%	440	+30.8%

2016 年度第 3 四半期の専門金融サービス部門の純利益グループ帰属分は、前年同期の 1 億 4,300 万ユーロに対して 9.9%増の 1 億 5,700 万ユーロでした。

これまでの四半期と同様に、CA コンシューマー・ファイナンス(CACF)は、2016 年度第 3 四半期に 93 億ユーロの新規貸付を達成して、好調な業績となりました。これは、前年同期比では 15.3%の増加となり、全てのセグメントのほか特に自動車ローン提携事業(前年同期比 19.5%増)と当グループの支店ネットワーク(26.3%増)がけん引役となりました。したがって、管理消費者信用残高は、2016 年 9 月末現在で 750 億ユーロでした(2015 年 9 月末以降で 7%増、2013 年 6 月以降では記録的水準)。地理的な内訳はこれまでの四半期と変わらず、それぞれの残高はフランスが 38%、イタリアが 32%、他の諸国が 30%でした。

2016 年度第 3 四半期の CACF の収益は、前年同期比で 0.9%減となる 5 億 2,700 万ユーロでしたが、前四半期比では 0.8%増でした。営業費用は、前年同期比 5.5%増の 2 億 6,200 万ユーロとなりました。これは、中長期戦略計画に従った投資によるものです。最後に、2016 年度第 3 四半期のリスク関連費用は、前年同期比でほぼ横ばいでした(0.2%減)。CACF の純利益グループ帰属分は、2015 年度第 3 四半期の 1 億 1,400 万ユーロに対して 9.3%増の 1 億 2,400 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の CACF の収益は、イタリアでのローンの早期返済のケースで信用保険に適用される新しい規則を主な要因として、前年同期比 1.2%減の 15 億 6,600 万ユーロでした。2016 年度 9 ヶ月累計期間の営業費用は、2.3%増の 8 億 200 万ユーロでした。リスク関連費用は、顧客ポ

ートフォリオの質が改善したことを主な理由として大幅減となり、当四半期は前年同期比 22.0%減の 3 億 8,800 万ユーロでした。2016 年度 9 ヶ月累計期間の残高に対するリスク関連費用は、前年同期の 201 ベース・ポイントに対して 134 ベース・ポイント¹となりました。自動車ローン提携事業は、持分法適用寄与分が 15.1%増加して、CACF の収益性に寄与しました(18.6%増)。

したがって、CACF の純利益グループ帰属分は、前年同期の 2 億 5,900 万ユーロに対して 34%増の 3 億 4,700 万ユーロとなりました。

CAL&F のリース実績は成長を維持し、2016 年 9 月末現在で前年同期比 3.2%増の 153 億ユーロに達しました。買取売掛債権は、2015 年度第 3 四半期から 1.8%増の 162 億ユーロでした。特にフランスで顕著な伸びが見られ、2016 年 9 月末現在で前年同期比 5.2%増の 105 億ユーロを記録しました。

2016 年度第 3 四半期の CAL&F の収益は、前年同期比 0.8%増の 1 億 3,100 万ユーロでした。営業費用が前年同期比で 3.2%減の 6,740 万ユーロとなる一方、リスク関連費用は 6.7%増加しました。したがって、当四半期の CAL&F の純利益グループ帰属分は、前年同期比 11.9%増の 3,300 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の CAL&F の収益は、フランスでのリース・ファイナンス残高の増加を主な要因として、前年同期比 2.8%増の 3 億 9,800 万ユーロとなりました。営業費用は、わずか 1.4%減の 2 億 1,700 万ユーロでした。リスク関連費用は、2015 年度 9 ヶ月累計期間の 4,800 万ユーロに対して 4,600 万ユーロでした。全体では、2016 年度 9 ヶ月累計期間の CAL&F の純利益グループ帰属分は、前年同期比 20.2%増の 9,300 万ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

¹ ローリング 4 四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

5. 大口顧客

大口顧客部門の2016年度第3四半期の純利益グループ帰属分は4億5,800万ユーロでした。ローン・ヘッジとDVAの影響を除いた基礎純利益グループ帰属分は、全ての資本市場での好業績とストラクチャード・ファイナンス事業にけん引されて78.6%増の5億200万ユーロでした。この中には、5,000万ユーロの追加法務リスク引当金も含まれています。

この事業部門の純利益グループ帰属分を構成しているのは、ファイナンス事業からの2億600万ユーロ、資本市場及び投資銀行部門からの2億7,400万ユーロ、及び資産運用サービス部門からの2,200万ユーロの寄与分です(2015年度第3四半期は、それぞれ2億4,700万ユーロ、900万ユーロ、及び2,500万ユーロ)。

大口顧客部門の合計

<i>(in millions of euros)</i>	Q3-16 underlying ¹	Change Q3/Q3 underlying ¹	9M-16 underlying ¹	Change 9M/9M underlying ¹
Revenues	1,465	+38.3%	4,001	+3.5%
o/w Financing activities	582	+15.9%	1,678	+2.3%
o/w Capital markets and Investment banking	700	+87.1%	1,754	+5.5%
o/w Asset servicing	183	(0.1%)	569	+0.9%
Operating expenses	(738)	+3.4%	(2,401)	+4.1%
Gross operating income	727	+110.1%	1,600	+2.6%
Cost of credit risk	(116)	+48.7%	(354)	+83.4%
Cost of legal risk	(50)	nm	(100)	nm
Operating income	561	+109.3%	1,146	(16.2%)
Share of net income of equity-accounted entities	59	(0.5%)	182	x2.3
Net income on other assets	-	-	1	-
Income before tax	620	+89.6%	1,329	(8.1%)
Tax	(98)	x2.8	(282)	(29.9%)
Net gain/(loss) from held-for-sale operations	-	nm	11	nm
Net income	522	+79.4%	1,058	+1.5%
Non-controlling interests	20	+100%	37	+12.1%
Net income Group share	502	+78.6%	1,021	+1.2%

2016年度第3四半期には、金利低下、リスク・プレミアムの減少、英ポンドの下落を伴った6月末の英国のEU離脱ショックの後、事業活動とマーケットが大きく反発しました。中央銀行の支援策の継続は債券発行市場に恩恵をもたらし、これは、各企業にとって競争力のある新たな資金調達源となりました。こうした背景から、8月の通常の季節的影響にもかかわらず、法人営業・投資銀行部門の事業活動は全体的に好調でした。

¹ 2016年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の特殊要因、並びに2015年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30ページ)を参照。

2016 年度第 3 四半期の大口顧客部門の収益は、資本市場の力強い事業趨勢とストラクチャード・ファイナンス事業が寄与して、基礎的ベースでは前年同期比 38.3%増、xVA を除くと同 23.6%増となる 14 億 6,500 万ユーロでした(ローン・ヘッジと DVA の影響を除く)。

2016 年度第 3 四半期の**資本市場活動(債券、与信、外国為替、トレジャリー)**の収益は、xVA を除くと、与信市場の需要が不振を極めた前年同期とは対照的に 42.5%増となる 6 億 4,400 万ユーロでした。債券、外国為替、及び与信は、英国の EU 離脱決定後の好ましい市場環境(VaR は当四半期を通じて平均で 1,390 万ユーロに抑制)の中で大幅な伸びを達成しました。CACIB は、ソブリン債、代理人業務、ユーロ建てスーパナショナル債券発行¹、及びグリーンボンド発行²で世界第 2 位にランクされています。また、ユーロ建て債券発行¹では、前四半期から 1 ランク上昇して世界第 4 位となりました。

転換社債発行³ではフランスで第 2 位、ABCP 証券化⁴では欧州で第 1 位にランクされる**投資銀行部門**は、当四半期に複数の大型転換社債案件を完了しました。この部門の当四半期の収益は、前年同期と比べて 35.5%増の 5,600 万ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期の**ストラクチャード・ファイナンス**の収益は、海運部門と石油・ガス部門の困難な状況にもかかわらず、大半の取扱商品が急成長して前年同期比 20.8%増の 3 億 400 万ユーロとなりました。CACIB は、航空機ファイナンス⁵で世界第 1 位を維持しています。

当四半期の**商業銀行部門**の収益は、世界貿易の全体的な不振により輸出・貿易活動が引き続き悪影響を受けたものの、企業買収活動におけるオリジネーション件数の増加により前年同期比 11.4%増の 2 億 7,800 万ユーロでした。CACIB は、フランスのシンジケート・ローン分野では第 3 位にランクされています³。

アセット・サービシング部門の収益は、2016 年度第 3 四半期には 1 億 8,300 万ユーロと安定を維持しました。

2016 年度第 3 四半期の大口顧客部門の**営業費用**は、前年同期の 7 億 1,300 万ユーロに対して総額 7 億 3,800 万ユーロでした。当四半期には、パリの CACIB のチームのグループ・キャンパスへの譲渡に関連するおおよそ 2,000 万ユーロの非経常費用が含まれています。この事象を除くと、営業費用は安定的でした。2016 年度 9 ヶ月累計期間のコスト比率は 56.3%⁶でした。

リスク関連費用は、海運部門向けの追加引当金が生じたにもかかわらず、2016 年度第 1 四半期及び第 2 四半期と比べて安定的でした(2016 年度第 2 四半期及び第 3 四半期に計上した 5,000 万ユーロの法務リスク引当金を除く)。ファイナンス事業の残高に対するリスク関連費用は、当四半期には 32 ベーシス・ポイントとなりました⁷。

持分法適用会社からの利益シェアは、バンク・サウジ・フランジの好業績を反映して、前年同期とほぼ

¹ 出典:トムソン・ファイナンシャル。

² 出典:CACIB。

³ 出典:トムソン・ファイナンシャル。

⁴ 出典:CP ウェア。

⁵ 出典:Air Finance Database。

⁶ 基礎収益と SRF を除いた営業費用をベースに算定。

⁷ ローリング 4 四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

変わらない 5,900 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の大口顧客部門の純利益グループ帰属分は 9 億 8,400 万ユーロで、(ローン・ヘッジ、DVA の影響、及び 2015 年度第 2 四半期に計上された法務引当金を修正再表示した) 基礎的ベースでは 10 億 2,100 万ユーロとなり、前年同期と比べてほぼ横ばいでした。2016 年度 9 ヶ月累計期間には、単一破綻処理基金(SRF)に対する 1 億 4,900 万ユーロの拠出金と 1 億ユーロの法務リスク引当金が含まれています。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

6. コーポレート・センター

<i>(in millions of euros)</i>	Q3-16	Change Q3/Q3	9M-16	Change 9M/9M
Revenues	(624)	+24.9%	(1,228)	(3.2%)
<i>of which capital and liquidity management</i>	(309)	(38.8%)	(1,040)	(33.5%)
<i>o/w carrying cost to equity stakes net costs to subordinated debt</i>	(188)	(19.7%)	(762)	(14.7%)
<i>o/w Switch</i>	-	nm	(230)	nm
<i>o/w VISA Europe</i>	-	nm	355	nm
<i>o/w issuer spreads</i>	(281)	nm	(243)	nm
<i>o/w other</i>	(34)	nm	55	nm
Revenues underlying¹	(320)	(24.4%)	(919)	(33.9%)
Operating expenses	(182)	(16.2%)	(651)	(7.9%)
Gross operating income	(806)	+12.4%	(1,879)	(4.9%)
Cost of risk	(6)	(95.9%)	(18)	(58.4%)
Operating income	(812)	(4.8%)	(1,897)	(6.0%)
Share of net income of equity-accounted entities	27	(85.9%)	38	(79.8%)
Net income on other assets	(50)	nm	(47)	nm
Income before tax	(835)	+26.0%	(1,906)	+3.8%
Tax	303	(12.0%)	867	+1.3%
Net income from discontinued or held for sale operations	1,272	nm	1,272	nm
Net income	740	nm	233	nm
Non-controlling interests	(13)	nm	(5)	nm
Net income Group share	753	nm	238	nm
Net income Group share underlying¹	(323)	+58.5%	(1,029)	(7.2%)

2016 年度第 3 四半期のコーポレート・センターの業績は、以下を含めて当グループの構造簡素化作業の影響を反映しています。

- CCI と CCA の SACAM ミューチュアリゼーションへの譲渡による大きな利益（非継続事業又は売却目的保有事業からの 2016 年度第 3 四半期の純利益の 12 億 7,200 万ユーロ増（非課税）、及び収益が 2,300 万ユーロ減となった他の項目（つまり、純利益グループ帰属分の 1,800 万ユーロ減））
- 金利 2.15% の総額 110 億ユーロのローンに関して地域銀行から受け取った最初の利息（収益の 3,800 万ユーロ増）

¹ 2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の特殊要因、並びに 2015 年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料（30 ページ）を参照。

－ Switch 1 保証費用の消滅(収益の 1 億 1,500 万ユーロ増)

(付属資料に詳述される特殊要因の調整後の)基礎収益は、2015 年度第 3 四半期から 1 億 400 万ユーロ改善して-3 億 2,000 万ユーロとなりました。この改善は、当グループの構造簡素化作業の非経常的なプラス影響によるものでした。

営業費用は、2015 年度第 3 四半期から 16.2%減の 1 億 8,200 万ユーロでした。

持分法適用子会社の変化は、2015 年度第 3 四半期のユーラゼオ社の非常に大きな寄与分の影響を受けたものです。

コーポレート・センターの純利益グループ帰属分は 7 億 5,300 万ユーロで、上記の特殊要因を除くと-3 億 2,300 万ユーロでした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間のコーポレート・センターの純利益グループ帰属分は 2 億 3,800 万ユーロでした。上記の特殊要因を除くと、損失は前年同期比 7.2%減の 10 億 2,900 万ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

クレディ・アグリコル・グループ連結決算

2016年9月30日現在のクレディ・アグリコル・グループの顧客ローン残高は、およそ7,830億ユーロでした。オン・バランスシートの顧客預金は、およそ6,790億ユーロでした。

<i>(in millions of euros)</i>	Q3-16	Q3-16 underlying	Change Q3/Q3 underlying	9M-16	9M-16 underlying	Change 9M/9M underlying
Revenues	7,099	7,777	+3.2%	22,524	23,482	(0.3%)
Operating expenses	(4,710)	(4,710)	(0.4%)	(15,039)	(14,998)	+0.9%
Gross operating income	2,389	3,067	+9.1%	7,485	8,484	(2.2%)
Cost of credit risk	(597)	(597)	+10.1%	(1,855)	(1,855)	+0.9%
Cost of legal risk	(50)	(50)	nm	(100)	(100)	nm
Operating income	1,742	2,420	+6.7%	5,530	6,529	(4.6%)
Share of net income of equity-accounted entities	138	138	(53.8%)	388	388	(6.8%)
Net income on other assets	(47)	(47)	nm	(19)	(19)	nm
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-
Income before tax	1,833	2,511	(2.2%)	5,899	6,898	(5%)
Tax	(348)	(577)	(18.8%)	(1,491)	(1,936)	(15.4%)
Net income from discontinued or held for sale operations	-	-	nm	11	11	nm
Net income	1,485	1,934	+4.4%	4,419	4,974	+0.5%
Non-controlling interests	91	93	+10.3%	265	269	(7.7%)
Net income Group share	1,394	1,841	+4.1%	4,154	4,705	+1%

クレディ・アグリコル・グループは、2016年度第3四半期に70億9,900万ユーロの収益を記録しました。特にLCLの資金調達コスト調整費用(-3億ユーロ)と発行体スプレッド(-2億8,100万ユーロ)などの特殊要因¹を除くと、基礎収益は、前年同期比3.2%増の77億7,700万ユーロとなりました。

2016年度第3四半期の営業費用は、2015年度第3四半期の47億2,800万ユーロに対してわずか0.4%減の47億1,000万ユーロでした。

2016年度第3四半期の信用リスク関連費用は、5億9,700万ユーロ(31ベース・ポイント²)と低い水準を維持しました。これは、2015年度第3四半期にはリスク関連費用が特に減少した地域銀行(3,900万ユーロ増)を主な要因として、10.1%(5,500万ユーロ)増となりました。

更に、当グループは当四半期に、法務リスク引当金を5,000万ユーロ積み増しました。

基礎純利益グループ帰属分¹は、2015年度第3四半期比4.1%増の18億4,100万ユーロでした。

¹ 2016年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の特殊要因、並びに2015年度の対応するデータの詳細については、本プレスリリースの付属資料(30ページ)を参照。

² ローリング4四半期を対象に平均年換算で計算した連結残高との比較。

2016年度9ヶ月累計期間の収益は225億2,400万ユーロでした。特殊要因を除くと、基礎収益は、前年同期と比べてほぼ横ばい(0.3%減)の234億8,200万ユーロでした。当グループの営業費用が前年同期と比べてわずか0.9%増となる一方で、信用リスク関連費用も0.9%増の18億5,500万ユーロでした。5,000万ユーロの法務リスク引当金は、当年度の第2四半期と第3四半期に計上され、9ヶ月累計期間の総額は1億ユーロとなりました。

2016年度9ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分¹は、前年同期比で微増(1%)となる47億500万ユーロでした。

2016年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに2015年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

地域銀行

(in millions of euros)	Q3-16	Change Q3/Q3 Underlying ¹	9M-16	Change 9M-16
Revenues	3,273	(7.7%)	10,356	(4.1%)
Operating expenses	(1,980)	+1.0%	(6,215)	+2.0%
Gross operating income	1,293	(18.5%)	4,141	(12.0%)
Cost of risk	(152)	+34.2%	(559)	+10.9%
Operating income	1,141	(22.5%)	3,582	(14.9%)
Share of net income of equity-accounted entities	-	nm	5	nm
Net income on other assets	2	nm	27	nm
Change in value of goodwill	-	nm	-	nm
Income before tax	1,143	(22.4%)	3,614	(13.9%)
Tax	(367)	(31.6%)	(1,231)	(20.7%)
Net income from discontinued or held for sale operations	-	nm	-	nm
Net income	776	(17.2%)	2,383	(9.9%)
Non-controlling interests	(1)	nm	-	+33.3%
Net income Group share	777	(17.2%)	2,383	(9.9%)

当四半期に事業活動が活発に行われ、クレディ・アグリコル S.A.の事業部門の拡大に寄与しました。

顧客預かり資産は、前年同期比3.6%増の6,339億ユーロでした。成長をけん引したのはオン・バランスシート預金(2016年9月末現在では1年間で5.1%増のおよそ3,820億ユーロ)で、オフ・バランスシート顧客預かり資産も1.4%増のおよそ2,520億ユーロとなりました。オン・バランスシート預金は、要求払預金(前年同期比11.7%増)と住宅購入貯蓄プラン(7.3%増)を中心に引き続き成長しました。

¹ 2015年度第3四半期の特殊要因の詳細については、本プレスリリースの33ページを参照。

一方、オフ・バランスシート顧客預かり資産は、生命保険が引き続きけん引役となり、残高は 2016 年 9 月末現在で前年同期比 3.2%増のおよそ 1,810 億ユーロとなりました。

ローン残高は、2016 年 9 月末現在で前年同期比 3.7%増の 4,239 億ユーロでした。成長は、引き続き住宅ローンと消費者金融(1 年間でそれぞれ 5.7%増と 8.4%増)によってけん引されました。農業及び SME/スモールビジネス向けローンは、同じ期間に双方とも 2.3%増加しました。

地域銀行はまた、当四半期に個人傷害保険と損害保険で大きな伸びを達成しました。

当四半期の地域銀行の**収益**は、当グループの構造簡素化作業の初期的な影響を受けました。即ち、(i)2016 年 7 月 1 日の Switch 1 の解除後の Switch 1 収入の消滅(-1 億 1,500 万ユーロ)、及び(ii)2016 年 8 月 3 日にクレディ・アグリコル S.A.が譲渡した金利 2.15%、総額 110 億ユーロのローンの費用(-3,800 万ユーロ)です。これらの影響と住宅購入貯蓄プラン引当金¹を除くと、2016 年度第 3 四半期の地域銀行の収益は、前年同期比 2.9%減の 34 億 3,300 万ユーロでした。

全体では、2016 年度第 3 四半期の地域銀行の**純利益グループ帰属分**は、2015 年度第 3 四半期の Switch クローバックの影響を除くと、前年同期比 17.2%減の **7 億 7,700 万ユーロ**でした。

2016 年度 9 ヶ月累計期間の地域銀行の純利益グループ帰属分は、前年同期比 9.9%減となる総額 23 億 8,300 万ユーロでした。

2016 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の表示金額及び基礎的金額と変動額、並びに 2015 年度の対応するデータを調整するために行われた個別損益項目調整については、付属資料に詳述されています。

Crédit Agricole S.A.'s financial information for the third quarter and first nine months of 2016 consists of this press release and the attached presentation. All regulated information, including the registration document, is available on the website www.credit-agricole.com/Finance- and Shareholders under "Financial reporting" and is published by Crédit Agricole S.A. pursuant to the provisions of article L. 451-1-2 of the Code Monétaire et Financier and articles 222-1 et seq. of the AMF General Regulation.

INVESTOR RELATIONS + 33 1.43.23.04.31

investor.relations@credit-agricole-sa.fr

Cyril Meilland, CFA:	+ 33 1 43 23 53 82	Denis Kleiber:	+ 33 1 43 23 26 78
Céline de Beaumont:	+ 33 1 57 72 41 87	Oriane Cante:	+ 33 1 43 23 03 07
Emilie Gasnier:	+ 33 1 43 23 15 67	Fabienne Heureau:	+ 33 1 43 23 06 38
	Vincent Liscia:	+ 33 1 57 72 38 48	

PRESS CONTACT

Louise Tingström +44 7899 066995

¹ 2016 年度第 3 四半期の住宅購入貯蓄プラン引当金の 100 万ユーロの費用と 2015 年度第 3 四半期の 1,200 万ユーロの戻入れ。

付属資料

付属資料—代替の業績指標—特殊要因

クレディ・アグリコル・グループ:

€m	Specific items of Q3-16		Specific items of Q3-15	
	Impact before tax	Impact on NIGS	Impact before tax	Impact on NIGS
DVA Running (LC)	(44)	(29)	14	9
DVA Running (Corporate centre)	-	-	(50)	(31)
Loan hedges (LC)	(25)	(16)	36	22
Issuer spreads (Corporate centre)	(281)	(182)	(26)	(17)
Eurêka (Corporate centre)	(28)	(23)	-	-
Adjustment of funding cost (LCL)	(300)	(197)	-	-
Total impact on revenues	(678)	(447)	(26)	(17)
Total impact of specific items		(447)		(17)

€m	Specific items 9M-16		Specific items 9M-15	
	Impact before tax	Impact on NIGS	Impact before tax	Impact on NIGS
DVA running (LC)	(35)	(23)	81	53
DVA running (Corporate centre)	-	-	(50)	(31)
Loan hedges (LC)	(24)	(16)	57	35
Issuer spreads (Corporate centre)	(243)	(154)	173	113
Liability management upfront payment (Corporate centre)	(683)	(448)	-	-
Capital gain on VISA EUROPE (Corporate centre)	355	337	-	-
Adjustment of funding cost (LCL)	(300)	(197)	-	-
Eurêka (Corporate centre)	(28)	(23)	-	-
Total impact on revenues	(958)	(524)	261	170
LCL network optimisation cost (Retail banking)	(41)	(27)	-	-
Total impact on operating expenses	(41)	(27)		
Additional provision for legal risk (LC)	-	-	(350)	(350)
Total impact on cost of risk			(350)	(350)
Total impact of specific items		(551)		(180)

クレディ・アグリコル S.A.:

€m	Specific items of Q3-16		Specific items of Q3-15	
	Impact before tax	Impact on NIGS	Impact before tax	Impact on NIGS
DVA running (LC)	(44)	(28)	14	9
DVA Running (Corporate centre)	-	-	(50)	(31)
Loan hedges (LC)	(25)	(16)	36	22
Issuer spreads (Corporate centre)	(281)	(178)	(26)	(17)
Adjustment of funding cost (LCL)	(300)	(187)	-	-
Eurêka (Corporate centre)	(23)	(18)	-	-
Total impact on revenues	(673)	(427)	(26)	(17)
Switch (Corporate centre)	-	-	(107)	(66)
Switch (Asset Gathering)	-	-	(66)	(41)
Total impact on cost of risk			(173)	(107)
Eurêka (Corporate centre)	-	1,272	252	252
Total impact on Net income from discontinued or held-for-sale operations		1,272	252	252
Total impact of specific items		845		128

€m	Specific items 9M-16		Specific items 9M-15	
	Impact before tax	Impact on NIGS	Impact before tax	Impact on NIGS
DVA running (LC)	(36)	(23)	81	52
DVA Running (Corporate centre)	-	-	(50)	(31)
Loan hedges (LC)	(24)	(15)	57	35
Issuer spreads (Corporate centre)	(244)	(152)	173	111
Liability management upfront payment (corporate centre)	(683)	(448)	-	-
Adjustment of funding cost (LCL)	(300)	(187)	-	-
Capital gain on VISA EUROPE (Corporate centre)	355	327	-	-
Regional Banks' dividends (Corporate centre)	286	285	-	-
Eurêka (Corporate centre)	(23)	(18)	-	-
Total impact on revenues	(669)	(231)	261	167
LCL network optimisation cost (Retail banking)	(41)	(26)	-	-
Total impact on operating expenses	(41)	(26)		
Additional provision for legal risk (LC)	-	-	(350)	(342)
Total impact on cost of risk			(350)	(342)
Eurêka (Corporate centre)	-	1,272	847	847
Total impact on Net income from discontinued or held-for-sale operations		1,272	847	847
Total impact of specific items		1,016		672

LCL の表示実績と基礎的実績との調整

€m	Q3-16	Specific items of Q3-16 ⁽¹⁾	Q3-16 underlying	Q3-15	Specific items of Q3-15	Q3-15 underlying	Δ Q3/Q3	Δ 9M/9M underlying
Revenues	570	(300)	870	891	-	891	(36.1%)	(2.4%)
Operating expenses	(600)	-	(600)	(634)	-	(634)	(5.5%)	(5.4%)
Gross operating income	(30)	(300)	270	257	-	257	ns	+5.1%
Cost of risk	(55)	-	(55)	(19)	-	(19)	x2.9	x2.9
Share of net income of equity-accounted entities	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income on other assets	-	-	-	-	-	-	-	-
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	(85)	(300)	215	238	-	238	ns	(9.7%)
Tax	53	103	(50)	(82)	-	(82)	ns	(38.7%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income	(32)	(197)	165	156	-	156	ns	+5.6%
Non-controlling interests	(2)	(10)	8	7	-	7	ns	+9.1%
Net income Group Share	(30)	(187)	157	149	-	149	ns	+5.4%

€m	9M-16	Specific items of 9M-16 ⁽¹⁾	9M-16 underlying	9M-15	Specific items of 9M-15	9M-15 underlying	Δ 9M/9M	Δ 9M/9M underlying
Revenues	2,254	(300)	2,554	2,757	-	2,757	(18.2%)	(7.4%)
Operating expenses	(1,936)	(41)	(1,895)	(1,936)	-	(1,936)	(0.0%)	(2.1%)
Gross operating income	318	(341)	659	821	-	821	(61.2%)	(19.7%)
Cost of risk	(130)	-	(130)	(83)	-	(83)	57.4%	57.4%
Share of net income of equity-accounted entities	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income on other assets	-	-	-	(1)	-	(1)	nm	nm
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	188	(341)	529	737	-	737	(74.5%)	(28.2%)
Tax	(44)	117	(161)	(267)	-	(267)	(83.4%)	(39.6%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income	144	(224)	368	470	-	470	(69.4%)	(21.8%)
Non-controlling interests	7	(11)	18	23	-	23	(68.7%)	(23.3%)
Net income Group Share	137	(213)	350	447	-	447	(69.4%)	(21.7%)

(1) 2016 年度第 2 四半期のネットワーク再編と当四半期の資金調達コストの調整。

アセット・ギャザリング部門の表示実績と基礎的実績との調整

€m	Q3-16	Specific items of Q3-16	Q3-16 underlying	Q3-15	Specific items of Q3-15	Q3-15 underlying	Δ Q3/Q3	Δ Q3/Q3 underlying
Revenues	1 107	-	1 107	1 121	-	1 121	(1.2%)	(1.2%)
Operating expenses	(477)	-	(477)	(500)	-	(500)	(4.5%)	(4.5%)
Gross operating income	630	-	630	621	-	621	+1.5%	+1.5%
Cost of risk	(2)	-	(2)	(66)	(66)	-	nm	nm
Share of net income of equity-accounted entities	8	-	8	6	-	6	35.0%	35.0%
Net income on other assets	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Income before tax	636	-	636	561	(66)	627	+13.7%	+1.7%
Tax	(149)	-	(149)	(203)	25	(228)	(26.7%)	(34.8%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	0	-	0	-	-	-	nm	nm
Net income	487	-	487	358	(41)	399	+36.7%	+22.6%
Non-controlling interests	40	-	40	31	-	31	+31.9%	+31.9%
Net income Group Share	447	-	447	327	(41)	368	+37.1%	+21.9%

€m	9M-16	Specific items of 9M-16	9M-16 underlying	9M-15	Specific items of 9M-15	9M-15 underlying	Δ 9M/9M	Δ 9M/9M underlying
Revenues	3 450	-	3 450	3 468	-	3 468	(0.5%)	(0.5%)
Operating expenses	(1 601)	-	(1 601)	(1 621)	-	(1 621)	(1.2%)	(1.2%)
Gross operating income	1 849	-	1 849	1 847	-	1 847	+0.1%	+0.1%
Cost of risk	(9)	-	(9)	(22)	-	(22)	nm	nm
Share of net income of equity-accounted entities	21	-	21	18	-	18	12.4%	12.4%
Net income on other assets	1	-	1	7	-	7	nm	nm
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Income before tax	1 862	-	1 862	1 850	-	1 850	+0.6%	(2.8%)
Tax	(500)	-	(500)	(655)	-	(655)	(23.7%)	(26.6%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	0	-	0	1	-	1	nm	nm
Net income	1 362	-	1 362	1 196	-	1 196	+13.9%	+10.2%
Non-controlling interests	121	-	121	99	-	99	+22.2%	+22.2%
Net income Group Share	1 241	-	1 241	1 097	-	1 097	+13.2%	+9.1%

大口顧客部門の表示実績と基礎的実績との調整

€m	Q3-16	Impact of loan hedges	Impact of DVA running	Q3-16 underlying	Q3-15	Impact of loan hedges	Impact of DVA running	Q3-15 underlying	ΔQ3/Q3	ΔQ3/Q3 underlying
Revenues	1,396	(25)	(44)	1,465	1,109	36	14	1,059	+25.9%	+38.3%
Operating expenses	(738)	-	-	(738)	(713)	-	-	(713)	+3.4%	+3.4%
Gross operating income	658	(25)	(44)	727	396	36	14	346	+66.5%	+110.1%
Cost of credit risk	(116)	-	-	(116)	(78)	-	-	(78)	+48.7%	+48.7%
Cost of legal risk	(50)	-	-	(50)	-	-	-	-	nm	nm
Operating Income	492	(25)	(44)	561	318	36	14	268	+55.3%	+109.3%
Share of net income of equity-accounted entities	59	-	-	59	59	-	-	59	(0.5%)	(0.5%)
Net income on other assets	-	-	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Tax	(74)	9	15	(98)	(53)	(13)	(5)	(35)	+39.2%	+2.8
Change in value of held-for-sale operations	-	-	-	-	(1)	-	-	(1)	nm	nm
Net income	477	(16)	(29)	522	323	23	9	291	+47.8%	+79.4%
Non-controlling interests	19	-	(1)	20	11	1	-	10	+73.1%	+100.0%
Net Income Group share	458	(16)	(28)	502	312	22	9	281	+46.9%	+78.6%

€m	9M-16	Impact of loan hedge	Impact of DVA running	9M-16 underlying	9M-15	Impact of loan hedge	Impact of DVA running	Additional provision OFAC	9M-15 underlying	Δ9M/9M	Δ9M/9M underlying
Revenues	3,842	(24)	(36)	4,001	4,004	67	81	-	3,888	(1.6%)	+3.6%
Operating expenses	(2,401)	-	-	(2,401)	(2,306)	-	-	-	(2,306)	+4.1%	+4.1%
Gross operating income	1,641	(24)	(36)	1,800	1,888	67	81	-	1,680	(8.2%)	+2.8%
Cost of credit risk	(354)	-	-	(354)	(193)	-	-	-	(193)	+83.4%	+83.4%
Cost of legal risk	(100)	-	-	(100)	(350)	-	-	(360)	-	nm	nm
Operating income	1,087	(24)	(36)	1,148	1,166	67	81	(360)	1,387	(6.8%)	(18.2%)
Share of net income of equity-accounted entities	182	-	-	182	78	-	-	-	78	x 2.3	x 2.3
Net income on other assets	1	-	-	1	1	-	-	-	1	nm	nm
Tax	(261)	9	12	(282)	(451)	(21)	(28)	-	(402)	(42.1%)	(29.9%)
Change in value of held-for-sale operations	11	-	-	11	(2)	-	-	-	(2)	nm	nm
Net income	1,020	(16)	(28)	1,068	781	38	63	(360)	1,042	+30.8%	+1.6%
Non-controlling interests	36	-	(1)	37	27	1	1	(8)	33	+31.4%	+12.1%
Net Income Group share	884	(16)	(22)	1,021	764	36	62	(342)	1,008	+30.8%	+1.2%

コーポレート・センターの表示実績と基礎的実績との調整

€m	Q3-16	Specific items	Q3-16 underlying	Q3-15	Specific items	Q3-15 underlying	Δ Q3/Q3	Δ Q3/Q3 underlying
Revenues	(624)	(304)	(320)	(500)	(76)	(424)	+24.9%	(24.4%)
Operating expenses	(182)	-	(182)	(218)	-	(218)	(18.2%)	(18.2%)
Gross operating income	(806)	(304)	(502)	(718)	(76)	(642)	+12.4%	(21.6%)
Cost of risk	(8)	-	(8)	(135)	(107)	(28)	(95.9%)	(80.4%)
Equity-accounted entities	27	-	27	190	-	190	(85.9%)	(85.9%)
Net income on other assets	(50)	-	(50)	(1)	-	(1)	nm	nm
Income before tax	(835)	(304)	(531)	(664)	(183)	(481)	+26.0%	+10.8%
Tax	303	102	201	345	68	277	(12.0%)	(27.3%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	1,272	1,272	-	-	-	-	nm	nm
Net income	740	1,070	(330)	(319)	(115)	(204)	nm	+62.2%
Non-controlling interests	(13)	(8)	(7)	1	-	1	nm	nm
Net income Group Share	753	1,076	(323)	(320)	(115)	(205)	nm	+58.5%

€m	9M-16	Specific items	9M-16 underlying	9M-15	Specific items	9M-15 underlying	Δ 9M/9M	Δ 9M/9M underlying
Revenues	(1,228)	(309)	(919)	(1,269)	123	(1,392)	(3.2%)	(33.9%)
Operating expenses	(651)	-	(651)	(707)	-	(707)	(7.9%)	(7.9%)
Gross operating income	(1,879)	(309)	(1,570)	(1,976)	123	(2,099)	(4.9%)	(25.1%)
Cost of risk	(18)	-	(18)	(42)	-	(42)	(58.4%)	(58.4%)
Equity-accounted entities	38	-	38	189	-	189	(79.8%)	(79.8%)
Net income on other assets	(47)	-	(47)	(7)	-	(7)	nm	nm
Income before tax	(1,906)	(309)	(1,597)	(1,836)	123	(1,959)	+3.8%	(18.4%)
Tax	887	308	561	858	(40)	898	+1.3%	(37.4%)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	1,272	1,272	-	-	-	-	nm	nm
Net income	233	1,269	(1,036)	(980)	83	(1,063)	nm	(2.4%)
Non-controlling interests	(5)	2	(7)	50	2	48	nm	nm
Net income Group Share	238	1,267	(1,029)	(1,030)	81	(1,111)	nm	(7.2%)

地域銀行の表示実績と基礎的実績との調整

€m	Q3-16	Specific items	Q3-16 underlying	Q3-15	Specific items ¹	Q3-15 underlying	Δ Q3/Q3	Δ Q3/Q3 underlying
Revenues	3,273	-	3,273	3,548	-	3,548	(7.7%)	(7.7%)
Operating expenses	(1,980)	-	(1,980)	(1,961)	-	(1,961)	+1.0%	+1.0%
Gross operating income	1,293	-	1,293	1,587	-	1,587	(18.5%)	(18.5%)
Cost of risk	(152)	-	(152)	60	173	(113)	-349.8%	34.2%
Equity-accounted entities	-	-	-	(1)	-	(1)	nm	nm
Net income on other assets	2	-	2	1	-	1	nm	nm
Income before tax	1,143	-	1,143	1,647	173	1,474	(30.6%)	(22.4%)
Tax	(367)	-	(367)	(602)	(66)	(536)	(39.1%)	(31.6%)
Net income from discontinued operations	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Net income	776	-	776	1,045	107	938	(25.6%)	(17.2%)
Non-controlling interests	(1)	-	(1)	-	-	-	nm	nm
Net income Group Shareholders	777	-	777	1,045	107	938	(25.6%)	(17.2%)

€m	9M-16	Specific items	9M-16 underlying	9M-15	Specific items	9M-15 underlying	Δ 9M/9M	Δ 9M/9M underlying
Revenues	10,356	-	10,356	10,794	-	10,794	(4.1%)	(4.1%)
Operating expenses	(6,215)	-	(6,215)	(6,090)	-	(6,090)	+2.0%	+2.0%
Gross operating income	4,141	-	4,141	4,704	-	4,704	(12.0%)	(12.0%)
Cost of risk	(559)	-	(559)	(504)	-	(504)	10.9%	10.9%
Equity-accounted entities	5	-	5	(1)	-	(1)	nm	nm
Net income on other assets	27	-	27	(1)	-	(1)	nm	nm
Income before tax	3,614	-	3,614	4,198	-	4,198	(13.9%)	(13.9%)
Tax	(1,231)	-	(1,231)	(1,552)	-	(1,552)	(20.7%)	(20.7%)
Net income from discontinued operations	-	-	-	-	-	-	nm	nm
Net income	2,383	-	2,383	2,646	-	2,646	(9.9%)	(9.9%)
Non-controlling interests	-	-	-	-	-	-	+33.3%	+33.3%
Net income Group Shareholders	2,383	-	2,383	2,646	-	2,646	(9.9%)	(9.9%)

(1) 2015 年度第 3 四半期のリスク関連費用の+1 億 7,300 万ユーロについては Switch 保証のクローバック。